

# S series

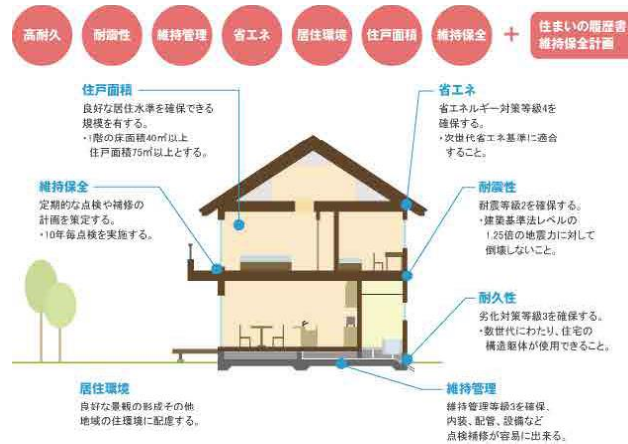
住宅仕様書

## Wind Performance 性能 1

### 長期優良住宅

【面積制限あり】詳しくは担当者へお尋ねください。

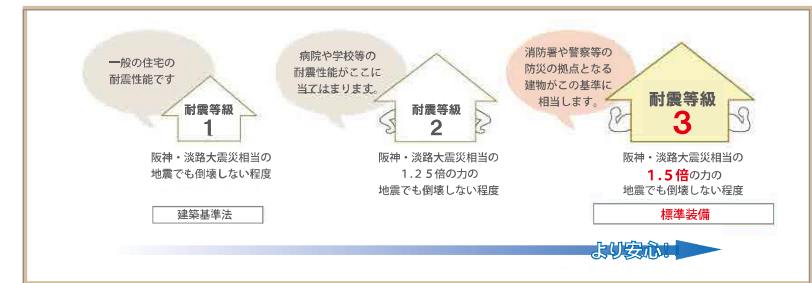
一般住宅に比べ、長期間の耐久性、高い耐震性、省エネルギー性能など7つの認定基準が満たされ、住宅の構造や設備が長期間良好な状態で使用できる住宅。



### 耐震性能

建築基準法では、極めて稀に(数百年に1度程度)発生する地震力が定められており、これに耐えられるものを『等級1』とします。

標準住宅の耐震性は国の定めた住宅性能表示において最高ランク『耐震等級3』に該当します。耐震等級は建築する住宅ごとの必要壁量に対する存在量の割合と、耐力壁の倍率に応じた耐力壁端部の接合金物によってきます。これは災害時の救助活動拠点となる消防署や病院と同等の強さです。



地震に強い家をつくるために・・・



- 1 耐久性に優れた、維持保全の容易な住宅づくり  
※床下・小屋裏の換気、防風防蟻等
- 2 設備の更新性に優れた住宅づくり  
※点検・交換が容易な設備配管
- 3 将来の変化に対応できる住宅づくり  
※可変性の高い空間、居住面積の確保
- 4 耐震性に優れた住宅づくり  
※バランスのよい耐力壁の配置
- 5 地球環境に配慮した住宅づくり  
※省エネルギー性・快適性の向上

\*税制優遇も受けることができます。

- 1 地盤調査  
地盤が弱いと家が傾いたりする「不同沈下」が発生し、耐震性に以前に欠陥となってしまいます。そこで、地盤を入念に調査し、その土に合った最適な基礎工事を施しています。
- 2 鉄筋コンクリートベタ基礎  
鉄筋を建物下の地盤全体に配筋し、そこに低盤厚が150～200mm分のコンクリートを流し込む基礎工法。地震や台風のなどの衝撃を効果的に地盤へ逃がすとともに、地盤を鉄筋コンクリートで覆っているので、防蟻対策としても有効です。
- 3 構造接合金物  
アンカーボルトやホールダウン金物で、基礎と構造体をしっかりと固定し、台風の強風や地震など横からの力による浮き上がりを防止しています。